

紺 碧

こ ん ぺ き

夏

SUMMER
2025 vol.14

紺 碧

2025年夏号

編集・発行：社会医療法人財団 石心会 TEL 04-381-3366 (代) 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 発行責任者：杉山孝博

埼玉石心会病院 病院長 | 石井 耕士

「断らない医療」の先へ
より質の高い医療を提供

特集

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～18:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会
いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会ヘルパーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会
さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶴ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



Cover Photo Story

埼玉石心会病院 病院長
石井 耕士



受診の際は、
マイナンバーカードを。

※マイナンバーカードを提示することで、診療報酬の算定がスムーズに行われます。
※マイナンバーカードを提示することで、診療報酬の算定がスムーズに行われます。

©厚生労働省 2025

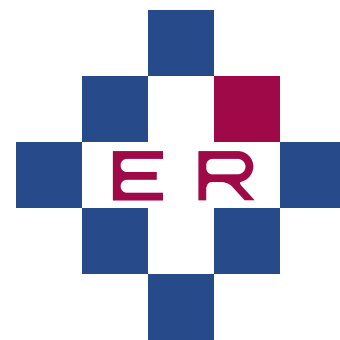


紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。
地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っています。



社会医療法人財団
石心会

©2025 石心会 本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。



「断らない医療」の先へ より質の高い医療を提供

埼玉石心会病院は、2025年4月に救命救急棟を開設しました。
これにより、重症救急患者への対応の強化、医療の質が向上し、さらなる地域貢献が実現できると考えています。
今回は、救命救急棟開設の目的や役割について病院長の石井耕士医師に伺いました。

地域の救急医療ニーズに 応えるために

当院の理念の1つに「断らない医療」があります。2015年度より、救急車の応需率は99%以上を維持し、理念の実現に邁進しています。その一方で、地域の医療ニーズ「重症患者さんの受け入れ」に十分に答えられていない部分がありました。

これまでも内科系や心臓・脳疾患の重症患者さんを受け入れてきましたが、生命にかかわるほどの重症な外傷（重症外傷）を負った患者さんなどの受け入れには課題がありました。

救命救急棟の特長

それを解決する手段のひとつとして、救命救急棟を開設しました。
一刻一秒を争いますので、いかにスピーディに治療を開始できるかを意識しました。まず患者さんが到着して、最初に運ばれる救命初療室には、手術室用のベッドを設置し、ベッドの移動を省きました。さらに救命CT室を救命初療室と直結させ、迅速に治療を開始できるように配しています。将来的には血管撮影装置も設置し、カテーテルを使った緊急処置も救命救急棟内で対応できるようになります。
これまでの問題のひとつに、入院



4月1日にオープンした
救命救急棟



救命初療室と救命CT室を直結させ、迅速に治療が開始できるような配置にしています。

ベッドが満床などの際、患者さんを救急の経過観察ベッドで長時間滞在させてしまう点がありました。
今回開設した救命救急棟には16床の救急病棟を新設、集中治療室（ICU）を4床増床し、感染対策として陰圧設備のある部屋も設置しました。患者さん、それぞれに適した医療環境を提供できるようにになりました。
さらに手術室も4室増設し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、2025年7月から運用を開始しました。
救急患者さんの初期診療から緊急手術、入院まで一貫して対応できます。

救急外科医と集中治療医

当院は「断らない医療」の先へと進み、「さらに質の高い医療」の提供を目指しています。

その実現には、ハード面（設備）だけでなく、ソフト面（医療スタッフ）が大変重要です。

重症患者さんに対して救急の手術・治療を専門的に行う「救急外科医」は、2023年時点で1名でしたが、2025年に新たに3名が加わり、現在は4名体制となりました。

そして、重症患者さんの全身管理を専門的に行う「集中治療医」の存在もとても大きいです。現在、当院には3名の集中治療医がいます。ICU（集中治療室）をメインに活躍していますが、集中治療医が看護師などの医療スタッフを束ね、チームで患者さんの治療にあたることでできています。

当院では、人材面の強化にも力を入れており、専門性の高い医師の採用によって、医療の質がさらに向上しています。

※陰圧室は、感染の原因となる空気が外に漏れないよう気圧を下げた病室。



2F EICUエリア



2F 手術室

ER総合診療センターには、24名の救急救命士（EMT課）が在籍し、救急現場全体を管理・調整

チームで取り組む

「救急外科」、「集中治療科」が所属するER総合診療センターには、救急患者さんの初療にあたる「救急科」や臓器横断的に診察を行う「総合診療科」があり、幅広い疾患に対応しています。また、若手医師の育成にも注力しており、現在、「救急科」に7名、「総合診療科」に4名の専攻医が在籍しています。初期研修医20名（1年目10名、2年目10名）も、救急科ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行っています。彼らの存在は指導医にとっても刺激となり、教育意識だけでなく、医療レベルの向上にもつながっています。

ER総合診療センターと若手医師の存在

「救急外科」、「集中治療科」が所属するER総合診療センターには、救急患者さんの初療にあたる「救急科」や臓器横断的に診察を行う「総合診療科」があり、幅広い疾患に対応しています。また、若手医師の育成にも注力しており、現在、「救急科」に7名、「総合診療科」に4名の専攻医が在籍しています。初期研修医20名（1年目10名、2年目10名）も、救急科ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行っています。彼らの存在は指導医にとっても刺激となり、教育意識だけでなく、医療レベルの向上にもつながっています。

10年後を見据えた展望

救急救命士だけでなく、専属の救急看護認定看護師、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師もあり、チームで医療に取り組む、互いを尊重しながら、それぞれの職分をフルに生かしています。

救急救命士の活躍の場を広げるため、当院では救急救命士が准看護師資格を取得できるよう看護学校への進学を支援しています。准看護師の資格を取得することで、幅広い救急医療への貢献が期待されます。

救急救命士の活躍の場を広げるため、当院では救急救命士が准看護師資格を取得できるよう看護学校への進学を支援しています。准看護師の資格を取得することで、幅広い救急医療への貢献が期待されます。

今や「断らない」だけでは十分とは言えません。その先にある、質の高い医療の実現こそが重要です。当院は、理念を守りつつ、時代の流れや情勢に柔軟に対応し、地域の皆さんの「命」と「安心」を守り続けてまいります。

一方、埼玉県には医療過疎地域も多く、そうした地域への医療支援にも力を入れていきたいと考えています。

当院は10年後に「日本一の救急医療を実現」を目指しています。スタートの一步目は「救命救急センター」の認可を取得することです。次に「救命救急センター」は厚生労働省から評価点（充実段階評価）をつけられるのですが、その満点を取得することです。それが達成できて、初めて「日本」と言えると考えています。



総合診療科



救急科

救命救急棟ER総合診療センターの診療科



集中治療科

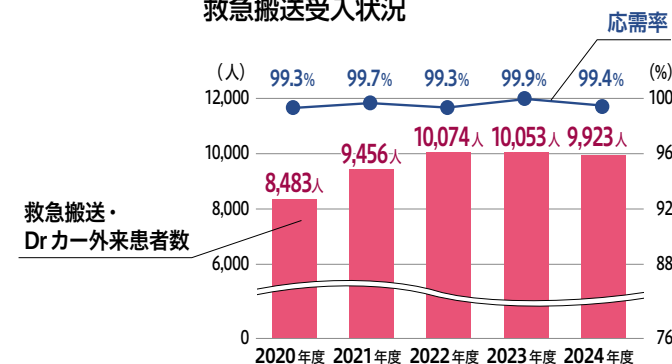


救急外科



さらなる活躍が期待される准看護師の資格を取得した救急救命士

救急搬送受入状況



救急車の受入台数は約10,000件。応需率は99%以上となっています。また、救急搬送のみならず、ウォークイン患者（緊急で診察が必要な徒歩で受診される患者さん）の診療も年間約14,000件行っています。

※内、1名は関連施設出向中。



医療法人誠至会 狭山厚生病院



病院長 識名 敦先生

狭山市の住宅地の中にあり、地域の需要の高い内科、小児科を中心に多様な症状の患者様に対応し、1970年の開院から長く地域の人々の健康と暮らしを支えてきました。地域包括ケア病棟を有し、急性期病院で治療終了後に状態の安定したポストアキュートの患者様や、地域の開業医からの高齢者の肺炎や尿路感染、心不全増悪などのサブアキュートの患者様、介護疲れの家族からの要望によるレスパイト入院など、地域医療と地域の福祉へとつなぐ役割を100%以上の高い病床稼働率で頑張っています。また、急性期医療を担う埼玉石心会病院と連携することで地域の医療を守り、地域の人々のために役立つことを意識しています。

当院の所属するSAITO Medical Groupの理念である「向き合うのは、あなたの人生」を実践するために、患者様の病気だけではなく、人生や生活全体を支える地域の一員として働いていることを意識して日々の診療に取り組んでいます。

診療科目

内科、小児科、健康診断、予防接種

住所 〒350-1308
埼玉県狭山市中央 1-24-10

電話 04-2957-9111 (代表)



診療開始	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 9:00	○	○	○	—	○	○	○*
午後 14:00	○	○	○	—	○	○	—
夕診 17:30	○	—	○	—	○	—	—

受付時間
■ 8:30~12:00 / 13:30~17:00 / 17:00~18:30
(予防接種・検診 8:30~12:00 / 13:30~16:30)
※第一日曜のみ・一般診療のみ



<https://skh.or.jp/>

医療法人社団大山会 大山クリニック



医療法人社団大山会 理事長／院長 大山 亮先生

当院は脳神経外科医・循環器内科医・老年科専門医(認知症専門医)の3名体制で、地域の皆様の健康をサポートしています。頭痛、めまい、しびれ、ものわすれなどの日常的な症状・脳卒中などの脳血管障害の急性期治療と予防・認知症、パーキンソン病などの神経変性疾患の専門的管理を行っています。胸痛、息切れ、動悸などの症状・心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患の慢性期管理・不整脈の管理とペースメーカーフォロー・睡眠時無呼吸症候群の検査と治療を行っています。また、高血圧、脂質異常症、糖尿病、慢性腎臓病などの生活習慣病・骨粗しょう症などの管理を行っています。MRI・CT・超音波検査装置を完備し、迅速かつ正確な診断を行っています。

地域のかかりつけ医として患者様一人ひとりのお悩みに寄り添い、最適な治療をご提案いたします。地域医療の拠点として、これからも質の高い医療サービスの提供を心掛けて参ります。どうぞお気軽にご相談ください。

診療科目

脳神経外科、循環器内科、内科
麻酔科

住所 〒357-0044
埼玉県飯能市川寺 488-1

電話 042-971-5300



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
14:00~18:00	○	○	▲	—	○	▲	—

受付時間 ■ 午前9:00~11:00 午後14:00~17:00
▲・・・水・土曜日 午後診療:14:00~17:00(受付16:00まで)



<https://oyamacl.com/>



さやま総合クリニック 2025年3月1日AI電話を導入

さやま総合クリニックでは日頃より外来予約センターのお電話が繋がりにくい状況が続いていたことから、患者さんのお電話をより多くお受けするため、自動対応システムを用いた専用ダイヤル(AI電話)を開設し、2025年3月1日より導入いたしました。これまでとのご予約方法と異なりますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

AI電話ご利用の流れ

自動対応システムに
用件をお話ください。

用件をお預かりし、
終話します。

当院より3診療日以内に電話・
SMSでご連絡いたします。

●予約の確定には、2~3日かかる場合がございます。予めご了承ください。●電話混雑を緩和するため、ぜひAI電話をご活用ください!

AI電話 050-1724-4862

	AI電話	外来予約センター 04-2953-9995
対応内容	①定期受診の予約 ②予約の変更 ③予約のキャンセル	①新規の予約 ②当日に関する予約 ③予約確認
受付時間	月~金 8:00~18:00 土 8:00~17:00 日・祝 受付不可	月~金 8:00~18:00 土 8:00~17:00 日・祝 8:30~17:00

AI電話のQ&A

- Q AI電話とは何ですか?
A 人工知能(AI)が電話対応を行う電話サービスです。再診の予約や、予約の変更などAIが音声で対応させていただきます。
- Q AI電話で個人情報を話しても大丈夫ですか?
A 患者さんの個人情報を適切に管理し、プライバシー保護を徹底しております。安心してご利用ください。
- Q AI電話を利用するのに特別な手続きは必要ですか?
A 特別な手続きは不要です。

こんな風に話してください

- 予約変更をしたいです
予約変更でよろしいでしょうか
- はい、それで
では、診療科をおっしゃってください
- 呼吸器内科
呼吸器内科でよろしいでしょうか
- はい、大丈夫です
人間と会話するように自然に話してくださいね!

詳細はこちらからもご覧いただけます▶



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

医療情報を“もっと”手軽にGET! みんなの健康塾ちゃんねる



公式SNS



WEB



LINE

埼玉石心会病院・
さやま総合クリニック
の求人情報はこちら

